

平成 25 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(平山地区)

開催日時	平成 25 年 9 月 12 日 (木) 午後 7 時から午後 8 時 40 分	天気 晴れ
場所	平山集会所	
町民参加者	男 35 人 女 8 人 (40 代以下 4 人、50 代 4 人、60 代以上 35 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、企画財政課長、総務防災課長、福祉課長、商工観光課長、事務局 2 人	

## 出席者から出された主な意見や提案

### 《テーマ：第 5 次総合計画》

- 自主防災組織の訓練で自治会としても連絡手段の確保が必要であることが分かった。第 5 次総合計画の中で使えるツールを具体化してもらいたい。
- 総合計画の説明の中で平成 35 年の将来人口が 9,700 人になるとの話があったが、65 歳以上人口の比率が分かれば聞きたい。もう少しすると限界集落になってしまう。

### 《テーマ：災害時における要援護者の避難場所について》

- 平山地区へはそれぞれ橋でつながっているが、落橋した場合地区が孤立してしまうが、町はどのような救援を考えているのか。
- 災害時要援護者避難支援制度について、自治会が避難支援者を用意することは困難。
- 災害時要援護者避難支援制度は支援者の名前を書き込んで形を作っているだけで、実質的な支援策になっていない。
- 災害時要援護者避難支援制度は、自治会で支援者を特定することが当たり前ようになってしまう。自治会役員は数年で替わるため数年経ったら、これをやるのが自治会の責務になってしまうので、おかしいのではないか。
- 災害時要援護者のリストについて、自治会に情報を出さないで欲しいと言われた方のリストはないのか。
- 避難支援が必要となる方は確実に増えると思うため、将来を考えて日頃から助け合う気持ちを持つことが必要だと思った。
- 地域住民が孤立した状態で救助が必要となった場合、役場へはどのようにして連絡をとるのか。

《テーマ：その他》

○町の防災無線でイベント情報を流す際は前日のため、少しゆとりをもって、せめて一週間程度前に放送できないか。

○消防団への入団条件を緩和して、地域に住んでいる方だけでなく平山地区の企業に勤めている方や町内他地区に住む方を入団させることは認められないのか。その場合準団員等という制度を設けてもらえないか。

○洒水の滝についてだが、もう少し滝の近くに行ける方策を考えてもらいたい。

○洒水の滝に関して県に要望はされているようだが、県の対応として何がネックになっているのかを聞きたい。

○町営水道のタンクの断熱等を考えてもらいたい。

○約 30 年前に当時の自治会長が中心となって地区の災害を調べた冊子があったので、それらを掘り起して防災に役立ててもらいたい。

○年末年始のゴミ収集で今年は 10 日間も収集されないことになるが、なぜ 10 日間も収集に来ないのか、5 日間に短縮する等の努力をしているのかを聞きたい。